広報かじき

No.311
昭和55年 11月号

発行／加治木町
編集／総務課
印刷／吉屋印刷

"実りの秋" みかんの収穫

収穫の秋、十一月を迎えると稲、みかん、甘しょなどの取り入れで
どこの農家でも忙しい毎日を過しています。

（小山田鞍掛で）

◆人口22,344(－1) 男10,653(－12) 女11,691(＋11) 世帯数 7,314(－6) 55.10.1現在( ) 前月比

九月定例町議会

千鳥線道路新設改良工事 請負契約等議案十一件を可決

昭和五十五年第三回定例町議会は、九月三十日から十月二十四日までの二十五日間の会期で開かれました。

議案として千鳥線等道路新設改良工事請負契約やこれに伴う補正予算、昭和五十四年度決算認定等議案十一件、陳情四件が上程審議され議案については原案どおり可決、陳情については三件が採択され、一件が継続審査となりました。

主な議案

一般会計補正予算
二億九百二十八万八千円

今回の一般会計補正予算は、二億九百二十八万八千円を追加して予算総額は、歳入歳出それぞれ、四十六億四千八百三十四万七千円となりました。

歳出の主なものは次のとおりです。

児童福祉施設費（私立保育所扶助費等）六百四十六万三千円、塵芥処理費（西部衛生処理組合負担金）三千九百九十九万九千円、農業振興費（耕土改良事業補助等）七百七万三千円、土地改良事業費（農道整備費等）一千九百六十九万九千円、道路新設改良費（竜門司坂線・千鳥線・岩原本通線等）五千八百三十五万六千円、道路舗装費九百万円、農業用施設災害復旧費三千百十一万七千円、現年災害復旧費三千四百九十四万三千円。

五十四年度一般会計
特別会計決算を認定

昭和五十四年度一般会計、国民健康保険特別会計、水道事業会計簡易水道特別会計の決算は原案どおり認定されました。

一般会計の決算額は、収入済額三十三億六千七百七十五万十八円、支出済額三十二億七千六百六十七万六千三百四十四円となりました。

道路新設改良工事
請負契約を締結

竜門司坂線および千鳥線道路新設改良工事請負契約は、指名競争入札の方法で行われ、竜門司坂線については、三千百十万円で株式会社岩澤組と、千鳥線については、四千二十万円で大英建設株式会社とそれぞれ契約締結することに決まりました。工期は十月十四日から来年三月二十二日までとなっています。

陳情

▽通学路の整備について（町道須崎、塩入線）採択
▽伊部野入口トンネルの切り通しについて（小山田）採択
▽ゲートボールコート確保について　採択
▽町営住宅等へのプロパンガス供給については、継続審査となりました。

教育委員長に園田氏 職務代理者に岩崎氏を再任

町教育委員会では、十月二十一日開かれた定例教育委員会において教育委員長に園田竹次郎氏（木田）同職務代理者に岩崎偉氏（西別府）を再任いたしました。

これは、任期満了に伴い改選が行われたものです。

起工を祝ってクワ入れをする東町長ら

広域基幹林道起工式

加治木―姶良―溝辺間15キロ
県民の森も計画

広域基幹林道「長尾山線」の起工式が十月八日、溝辺町丹生附の山林で行われました。

この林道は、加治木町の西別府ヒナバを起点に、溝辺町の長尾山から姶良町の北山フノ木に貫通する幅五㍍、延長十五㌔で、昭和五十九年度に完成します。

これが完成すると、沿線の森林の生産性向上が図られると共に、県が五十九年に開設予定の「県民の森」の、取り付け道路ともなり、林業農家はもちろん、関係者から大いに期待されています。

総事業費は、十五億三千万円で五十五年度から五十九年度まで、五ケ年間継続事業となっています。

この日は、宮原正徳県副知事や林野庁長官代理、国会議員、三町の町長等、関係者二百人が参加して、安全祈願のクワ入れ式を行い起工をお祝いしました。

来春開校へ向けて

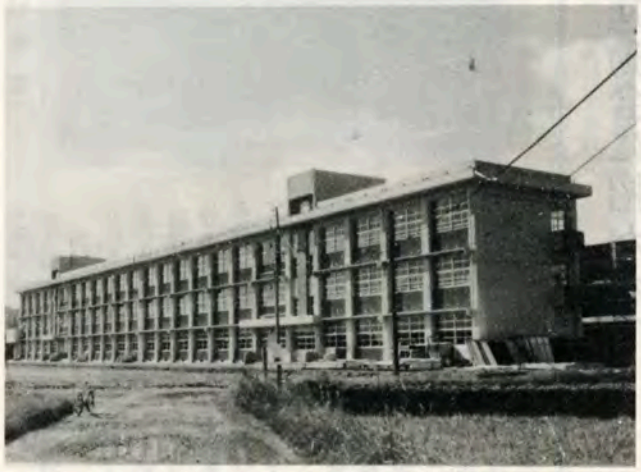
近代的な統合中建設進む

来春四月統合、開校を目ざした本町統合中学校の建設は、着々と進み、すでに普通教室棟は完成、特別教室棟と屋内運動場、通学路の建設工事が進んでいます。

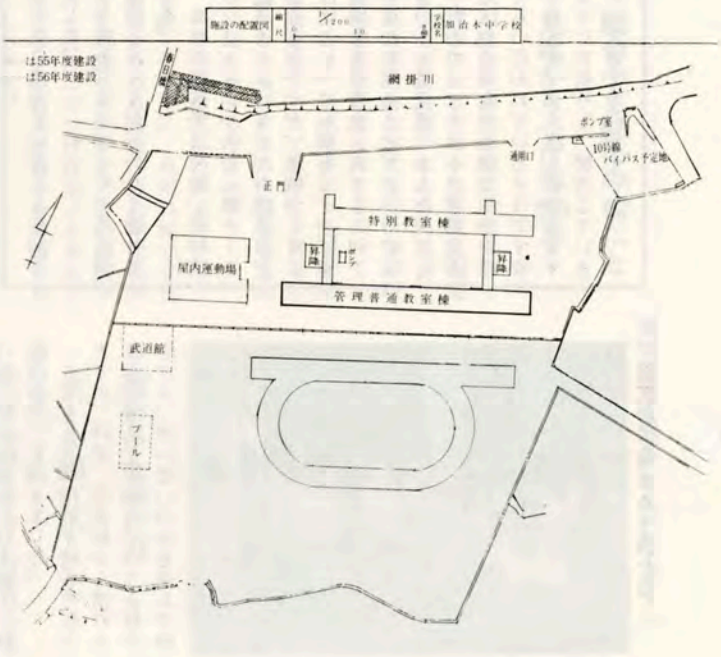
この統合中学校は、加治木中、竜門中、永原中の町内全中学校を反土札立の北側に、新しい環境のもと、統一した教育を目的に統合するもので、昨年度から工事が進められています。

学校敷地は、四万三千二百六平方㍍。鉄筋コンクリート三階建ての普通教室棟二十三教室、三千百六十七平方㍍は、すでに完成。同じく三階建て、特別教室棟十二教室(理科室、美術室、家庭科室、技術室等)三千三百四十二平方㍍と、県下の中学校では最大の屋内運動場一千四百六平方㍍が建設中で、今年まで、十四億三百万円の建設費となっています。また、五十六年度には、プールや武道館が完成することになっています。

来年四月には、生徒数九百十四人、二十三学級で発足することになっています。



完成した普通教室と工事が進む特別教室



社会福祉大会

功労者23人を表彰

仲良くおとさぬように

第二回目を迎えた町社会福祉大会ならびにスポーツ大会は、十月十二日、加治木中学校でお年寄りや母子家庭、身障者等六百人が参加して盛大に行われました。

この日は、台風十九号の影響で小雨のぱらつくあいにくの日和りとなりましたが、選手たちは、趣向をこらしたプログラムに、元気いっぱいに競技しました。

競技に先だち、まず福祉関係物故者のみたまに黙とうをささげたあと、東國雄大会会長(社会福祉協議会長)があいさつ、つづいて社会福祉関係に功績のあった二十三人に、表彰状が贈られました。

選手宣誓では、大山一男(身障者代表)が「今日一日、福祉の親睦を深め、楽しく有意義に競技することを誓います。」と、力強く宣誓、競技に入りました。

競技は、八十㍍競歩に始まり、車イス競争や、二人は若い、けつ圧測定等、福祉スポーツならではのプログラム十九種目に、かねてじかにスポーツに楽しむ機会の少ないお年寄りや、体の不自由な身障者たちは、はち巻をキリリッと締め、元気いっぱい融和を求め、挑戦しました。

また、町内婦人の方の踊りや、望岳園の器楽演奏が花を添え、一日を楽しく過しました。

表彰者は次の方々です。

前田穂積(下新道)、向江博夫(岩原東)、大角幸夫(垂ノ口)、吉薗和子(楠園)、川上セツ子(高井田)、中原茂春(麓)、郡山章(須崎)、湯浅フヂ(新町)、山上チヅ子(竹下)、小窪憲子(姶良町)、森永都(竹下)、岩穴口トシ(中福良東)、前村久江(高井田)、上枝テルエ(高井田)、岩元清子(高井田)、大村ミネ子(毛上)、浦川キヨ子(毛上)、福元ヨシ子(高井田)、斎藤智恵子(西ノ原)、福元アキエ(口ノ町)、中元トミ(岩原西)、樗木洋子(竹下)、平地典子(西反土前)

乳牛の審査

県・郡畜産共進会 本町は優秀な成績

昭和五十五年度県、郡畜産共進会は、姶良郡中央家畜市場でそれぞれ行われ、本町は、各種目においてりっぱな成績をおさめました。

成績は次のとおりです。

郡ホルスタイン(乳牛)共進会

9月19日、郡中央家畜市場

一部＝優秀賞　橋口弘（弓削）

二部＝優秀賞　緒方功（長谷）

四部＝優秀賞　堂下光志（布越）

郡畜産共進会

9月25～26日、郡中央家畜市場

肉用牛の部

一部＝最優秀賞　榎谷貞則（丸岡）

二部＝最優秀賞　楠元正男（桃木野）前畠春雄（下嶽）榎谷早男（隈原上）

三部＝優秀賞　岩穴口秋男（岩穴口）

系統牛＝最優秀賞　内村実夫（市来原）

父系群＝最優秀賞　犬童武男（里下）大宮路五男（辺川下）東百治（永原）

種豚の部

ランドレース＝最優秀賞　柚木満（朝日町）徳部久志（徳永）

優秀賞　柚木満（朝日町）内村敏幸（永原）

バークシャー＝最優秀賞　末吉キミ子（毛上）

系統豚＝最優秀賞　柚木満（朝日町）

種雄豚＝優秀賞　地久里光志（上東木）

団体の部

肉用牛の部　優勝　加治木町

種豚の部　優勝　加治木町

県畜産共進会

10月7～9日、郡中央家畜市場

肉用牛の部

最優秀賞＝楠元正男（桃木野）

種豚の部

最優秀賞＝柚木満（朝日町）

部落運動会に招かれて

城北地区公民館長　鎌田靖子

秋の一日、私は、高井田部落運動会に招かれました。

開会の九時には会場いっぱいに人が集り、誰もが秋晴れのような明るい笑顔。班ごとの入場、開会式、そして競技へとまるで毎日運動会の練習をしてきたかのように、プログラムがスムースに進む。準備する人、参加する人、呼び出しや招集もなく、こんなにうまく行くなんて…私は不思議に思いました。

人は人、自分は自分、自分さえよければと言う現代に、こんなに心の通じた温かさを感じたことはありません。

これは高井田部落に住む二百十五戸の一人一人が、部落を愛し部落を誇りに思っているからなのでしょう。私は以前こんな講話を聞いたことがあります。「部落は助け合うところ、ふれあいの場である。」と話されたことを思い出しました。

高井田部落では、もう運動会が七年も続いているそうです。その中で自然と身についた地域のぬくもりなのかも知れません。

ここでは地域づくり公民館活動が立派に出来ていることを知りました。

午後からは手づくりの馬も飛び出しみんながたのしく踊りました。

高井田部落では今後、班対抗のソフトボール大会（親チーム親子チーム）などが計画されているそうですが、地域づくりには何といっても部落こぞって参加出来る行事を一回でも二回でも重ねて行くことがいいのではないかと強く感じました。

町内ではこのような運動会が地区や自治会の単位で三十か所ぐらい行われているそうですが今後もますます盛んになりますようにお祈りし、努力していきたいと考えています。

緑陰読書を楽しむ 萩原のこどもたち

町内の萩原地域ＰＴＡ（枝元輝子会長・児童六十四人）では十月六日、町立図書館の日本間で「緑陰読書会」を開きました。

こどもたちは午前十時から正午までの二時間、図書館から借りた絵本や童話、物語など百二十冊の中から、思い思いの本を選んで読んでいました。

本読みののち、こどもたちは役員のお母さんから紙芝居もしてもらいました。目を輝かせてジーッと動かずに聞いている子、お話の中につり込まれて思わず体をのり出す子、紙芝居を見るこどもたちの表情は楽しみがいっぱい。

初めての試みで、一時はどうなることかと心配していたお母さんがたも、「うまくいきました。これで自信がつきました―。」とホッと一息ついていました。

ただ残念なことは、予定していた護国神社境内の大きな木の陰で読む計画が、天候の都合で会場が室内に変更されたことで、心残りのようでした。

萩原地域ＰＴＡでは「ＰＴＡ地域活動」のモデル地域としての指定を受け、事業の中にこのような新しい活動も取り入れており、その成果が期待されています。

紙芝居に集まる子供たち

話題

本町統計功績で
内閣総理大臣賞

昭和五十四年度「住民基本台帳人口移動」統計調査で、本町は、内閣総理大臣表彰を受けました。

これは、各市町村が住民基本台帳により従前の所在地別に、男女別転入者数や転出者数を調査し、毎月末現在で県を通じ国へ報告することになっていますが、この事業実績がきわめて優秀であったとして、県内でただ一町、本町が表彰に輝いたもので、十月二十八日、県統計調査課長から、表彰状が伝達されました。

県から表彰状が伝達

老人スポーツ大会
本町は二連勝

去る十月二十一日、第九回姶良・伊佐地区老人スポーツ大会が、隼人町営グラウンドで開かれ、国分市を含む十三チーム約七百人が参加してにぎわいました。

これに出場した本町のお年寄りたちは、各種目に立派な成績をおさめ、昨年に引き続き、優勝に輝きました。

種目は、ブームとなったゲートボールや輪入れ競技等があり、本町から参加した四十二人の選手は加治木町の老人パワーここにありと、腰をピンとのばし、全種目にハッスルし、二連勝を飾りました。

成績は、優勝＝加治木町、第二位＝福山町、第三位＝吉松町の順位でした。

優勝に輝いたお年寄りたち

統合中を緑の学校にと
九電からつげ等250本

「統合中学校を緑の学校にしてください」と十月十五日、九州電力加治木営業所（末永徳男所長）からつげの苗木等二百五十本が町教育委員会に贈られました。

これは、九州電力が「地域対話強調週間」として本年は十月十三日から十九日までの一週間を定め〝おきかせください　みなさんの声を〟を統一テーマに、九州各地で文化講演会やこん談会、社会奉仕活動等を実施しています。この期間中の十五日に、つげ百本、まき八十本、サツキ百本の苗木を寄贈されたものです。

この苗木は福岡の農業試験場で電力を利用してつくられた苗木で町教育委員会では、統合中学校が整備中で一応町内の小学校で育てることにしています。

九電から苗木の目録が教育長に

和やかな中にバレー
ボール錦江小ＰＴＡ

錦江小学校ＰＴＡ（持留昇会長四九〇人）では、九月二十四日から十月一日までの六日間、ナイターバレーボール大会を開き、和やかなふん囲気の中に、大にぎわいしました。

これは、永年の懸案であった錦江小体育館の照明設備が改善され新たに水銀燈六基が設置されたのを記念して、ますます体育館の活用を図っていこうと、石井校長先生の発案で、ＰＴＡの役員や先生たちの協力のもと行われたものです。

大会は〝和やかな大会にしよう〟と、運営方法やルールが検討され「チーム編制は、父親三人、母親六人とし、父親は後衛とする。」父親のサーブはアンダーハンドとし攻撃には参加しない。」と、決められました。

チームは十四地域から参加し、新設の照明も明るさを増し、いよいよ試合が始まりました。

ボールを抱きこんだり、力の入るあまり空振りをするお母さん、中衛より前へ出てはいけないと注意され、頭をかかえる父親。体育館の中は、爆笑のうずにまきこまれました。

しかし、日を経るにしたがって熱気が高まると共に、選手はもちろん応援の父母の方々の和は、ますます固くなり、最後までにぎやかな歓声が響いていました。

地域の中には、これを機に、チームを編制し、練習を始めたところもあり、かねて忙しいお父さんお母さんが一堂に会し、融和の輪を広げることができたと、大会関係者を初めみんなで喜んでいました。

照明設備を記念してバレーボール

〝ＬＰガス消費者保安デー〟

11月のテーマは,「古いゴム管の取り替え，固定式熱焼器具に対する金属フレキシブルホースの使用，ＬＰガス設備改善の促進」です。

婦人のコーナー

十一月もなかばをすぎますと、あちこちでにぎわった運動会も殆んど終わり、秋も静かに暮れ寒い冬の訪れのようです。もう冬仕度はおすみですか?。今年は灯油の心配もないとか……。でも省エネには心がけましょう。

交通安全はまず家庭から

―二つの大会から―

さきに県交通安全母の会の総会と、交通安全姶良西部地区総ぐるみ大会が、日々激増する交通事故を少しでも減少させようという願いをこめて二つの会がありました。

交通安全母の会というのは、全国的なつながりを持つものですがその目的は、交通弱者（幼児や老人）などへの教育、飲酒運転の追放、ドライバーへ対しての情緒安定策、単車や車の鍵の保管など、交通事故を撲滅するために、日常生活をもっと見直そうというものです。

加治木町でも、ドライバーの婦人部、PTA、婦人会などを中心にその組織がつくられ、学習会や交通指導などにとり組んでおりますが、まだまだ一般の人々の関心は薄いようです。

また、交通安全総ぐるみ大会では、運転者の立場から、婦人や、交通遺児、事業所のそれぞれの立場から交通安全に取り組んでいるようすの発表がありました。だれもが事故をおこそう、事故にあおうとは思っていません。何と言っても人々の「ゆだん」が事故をおこす最大の原因だと協会長のことばでした。

「ゆだん大敵」といいます。ほんとに交通ルールを守っていますか?。

よく町でみかける風景

- ●赤なのに車がこないと渡る人。
- ●自転車で子どもを前に後に背中に――と。
- ●幼児の保護を忘れた人。
- ●道路のわきで長話。などなど…

二つの大会に参加して、大きな事故も小さなゆだん、日頃の心がけが大切だとつくづく感じた次第です。

今年のマスゲームいかがでしたか?

町民体育祭に150人参加

私たちは今、町内の婦人たちがもっと大きく手をつなごうと呼びかけています。今年は例年婦人会として参加していたマスゲームを婦人の参加にかえ、各婦人部長さんに呼びかけ誰でも踊りたい方には参加していただきました。

県体で好評を得ました二つの踊りを婦人会員の指導で二回ほど練習しおぼえていただきました。特に錦江・城東・城北の婦人の方々がたくさん参加していただきうれしいことでした。町民体育祭がすんだ後は、各地域の運動会でまた踊られるとか、加治木の町にさつま太鼓がひびきわたる秋でした。これを機会に洗剤問題、ゴミ問題、青少年育成など……山積みするいろいろなことにも輪をひろげたいものです。

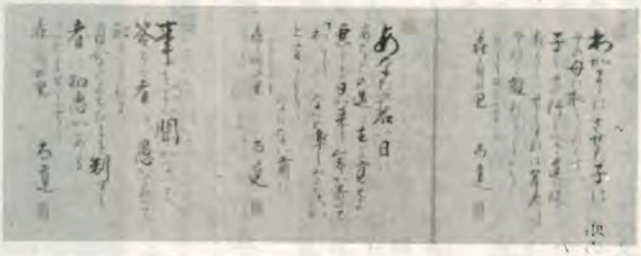
加治木中学校

母親講座

講演会から

去る十月二十七日、町福祉センターホールに於いて、近藤重和先生（県身体障害者福祉協議会会長）を講師に「ごめんなさいお母さん」と題して講演会が開催されました。講話の中から一部ご紹介しますのでお母さま方も一緒に考えてみてください。

「今母親たちは子供に家庭の重みを教えていない。家庭とは人間には何が大切かという価値感を教える場所だ。そして祈ること（いとたかき方に語りかける）を教えよ、ということから、家庭で力を合せて生活する大切さ暖かさ（よき想い出）を体験させよう。今子供たちが家族のために過す手伝いの時間は、日本二十四時間中二十四分、米国二時間二十四分、韓国二時間四十分ということです。さて私たちの家庭では何分でしょうか?。学校から帰宅するやいなや塾だ宅習だと勉強勉強に追い立て点数だけでその子の価値を判断してはいないか?。子供たちには、夫々に、能力に応じた道を選ばせ人生の任務を責任をもって、しっかりゆっくり歩けと導きたいものだ。」と話され次の色紙をお寄せ戴きました。



使っていますか 粉石けん!!

健康と自然を守るため、粉石けんに切りかえましょう。

時間励行

町民みんなで、会合等時間を守りましょう。

家庭の協力で、ゴミの量をへらしましょう。

第３２回町民体育祭

城北地区が２連勝

力強く選手宣誓をする錦江二地区の宇都選手

体育の日の十月十日、第三十二回町民体育祭が塩入の町営運動場で、町内九地区から約三千人が参加して、盛大に行われました。

この日は、絶好のスポーツ日和りに恵まれ、幼児からお年寄りまで、二十四種目の多彩なプログラムに出場し、熱戦が展開されました。地区対抗では、城北地区が昨年に引き続き、町民体育祭の部、年間社会体育総合の部、共に連勝しました。

大会は、午前九時から入場行進に続き開会式に入り、昨年度優勝地区の城北地区から優勝旗の返還のあと、東大会会長が「町民多くの方々のご協力により、盛大に本大会ができますことを感謝申し上げます。」と、あいさつ。選手宣誓では、錦江第二地区の宇都勝正さんが力強く宣誓を行い、町内保育園、幼稚園の遊戯に続いて競技に入りました。

競技は、二十四種目のうち採点種目が十二で、最後の地区対抗リレーまで、にぎやかに盛大のうちに終了しました。

また、体育関係で功績のあった次の方々を本大会の席上で、表彰しました。

瀬崎盛秀(今町)、増田昌弘(浜村)、城藤二(上木田)、川崎登志喜(加高)、隈原伸一(永中)、山中敏公、吉田博紀、川畑拓也、村井禎、持留紫、竪立憲一、川原親幸、蜂須賀洋一、黒木直美、宇都由佳理、白尾麻寿美、石川真由美、真野憲一、瀬戸口隆男、石原剛、福元勇二(以上加中)

▽体育祭の成績は次のとおりです。（○内は前年度の成績）

優勝　城北地区　一七三点①
二位　錦江一地区　一六〇点②
三位　城東地区　一五一点⑥
四位　竜門地区　一四六点⑨
五位　城西地区　一四五点④

五十五年度　社会体育年間総合成績

昭和五十四年度町民体育祭を最後に、これまで行われた各種社会体育の総合成績は次のとおりです。

（○内は前年度の成績）

一位　城北地区　五八点①
二位　錦江一地区　五二点⑤
三位　城東地区　四四点⑧
四位　城西地区　四一点③
五位　永原地区　三九点②

五十五年度　社会体育年間総合躍進賞

城東地区　十四点差

じょうずでしょう！（町内幼稚園児）

女子の400ｍリレー

南洲忌林間どこか水の音　鶴田　耕
野仏のついて来そうな秋の暮　横山　江南
葉鶏頭一株真昼日傾したり　高木　正男
孫の便りふところに受け草むしり　田中　萩子
秋光や母の紬のだし入れに　古江　重美
秋ぐみの小枝手に子等走り去る　宮脇　思川
鰯雲同窓名簿飴色に　井之上透山
暈もつ日沈む入江や柿うるる　大迫　ズミ
谷に沿う桜紅葉や磨崖仏　加藤　白柳
新麹箱洗はずに借られけり　能勢真砂子
コスモスや恋の幼想車椅子　田代　俊泉
曼珠沙華流れに添いて咲きにけり　上野　光

心配ごと相談

毎週木曜日の午前中町福祉センターで相談をうけています。

第二回町農業祭

十一月三十日(日)

今日のきびしい農業情勢のなかで、地域農業の振興をはかり、農業者の意欲の向上と、広く消費者にも農業を理解してもらう目的で第二回目の〝農業祭〟が開催されます。

とき　十一月三十日（日）
　　午前十時～午後三時
ところ　加治木中学校
行事内容
屋内（体育館）
○式典（表彰式・体験発表等）
○演芸大会（太鼓踊り等）
○生活改善展示即売
○農林畜産業展示
○営農相談所開設（土壌検査等）
屋外（グラウンド）
○農林畜産物展示即売（青空市場）
○縁化樹、鉢物等展示即売
○再生修理（靴修理、刃物研ぎ等）
○米利用加工食品（ポン菓子、自持品米一升、砂糖一・五キロ、金八百円）

狩猟事故を防止しよう

11月15日から狩猟解禁

十一月十五日からハンター待望の狩猟が解禁となり、来年二月十五日まで野や山で楽しい狩猟が行われます。

県内のハンターの数は、昨年一万八千三百人で全国第五位、九州では第一位でした。ハンターの増加に伴って事故も発生しています。昨年は五件が発生、一人死亡、四人の負傷者がでています。

狩猟事故を防ぐため、次の点に注意し、取り返しのつかない事故を起こすことのないよう、また、山火事が発生しないよう十分気をつけましょう。

狩猟にでかける前に
○猟場の地形をよく調べておく。
○猟銃の点検、整備を行い、猟場に着くまではタマをこめない。
猟場では
○銃口は、どんな場合でも絶対人に向けない。
○銃を持っているときは、落としたりころんだりしないように注意し、発射するとき以外は、引き金に指をふれない。
○獲物を発見したときは、気持ちを落ち着けて、周囲に人がいないか安全を確かめたうえで発射する。
○見通しの悪い所やタマがはね返る恐れがある所では発射しない。
○銃の調子が少しでも悪いときは使用しないように。
○銃の貸し借りは絶対にしない。
猟銃の保管
○保管庫は人目につかない場所に取り付け、必ずカギをかける。
○銃とタマとは別々に保管する。
○たとえ短い時間でも銃を床の間や自動車の中などに放置しない。

うぶ声

九月二十一日から十月二十日受付分

出生者　保護者　部落
加塩涼子　俊廣　蔵王団地
神之下高志　晃　下新道
汰木　仁　傳　小鳥
越迫邦雄　大造　春日団地
笹山大輔　義弘　西江口団地
西村　明　豊　日木山黒川
東桂木美貴　節雄　萩原
垣吉聖子　照三　竹下
矢富三沙都　則義　竹下
中園貴久　茂　端山
緒方智志　昇　春日団地
柱野雄一　尚　新町
徳重宏子　義人　岩原東
今吉恵美　孝一　今町
宇野光子　利光　東塩入
松下　翼　茂昭　空港団地
田ノ上優美　優　新町
水口友紀子　文雄　東諏訪
森　竜一　寛　下浜
有村拓郎　正三　西諏訪
外村絵美　通良　弥勒
岡山玲香　政紀　岩原西
徳寄美由紀　行男　吉原
田畑智美　廣美　岩原東
飯山佳子　一博　豊町
山下由美子　貴志　西塩入上
瀧田陽平　文男　西塩入下

香典返しを寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

二万円　江湖　有馬松雄（ユキ79）
三万円　岩原東　原田　勲（梅68）
五万円　中福良東　山森　喬（チカ90）
一万円　川内　笹峰春雄（東木ヨシ83）
二万円　西諏訪　森　一光（昭敬44）
二万円　丸岡　森木ケサノ（精一77）
一万円　菖蒲谷下　外村春夫（叮次81）
三万円　下新道　東フミエ（国義73）
三万円　西諏訪　小薗スエ（松義79）
三万円　内原田　吉村隆治（シツエ71）
三万円　今町　森木フジ子（繁67）
三万円　宮田ケ平　垣内　勝（キヨ82）
二万円　下菖蒲谷　蓬原春香（アサ86）
三万円　下浜　桃木野美智子（裕45）

＝町育英奨学資金へ＝

一万円　西諏訪　小薗スエ（松義79）
二万円　内原田　吉村隆治（シツエ71）

＝町国民年金協議会へ＝

一万円　西諏訪　小薗スエ（松義79）
二万円　内原田　吉村隆治（シツエ71）

○十月二十日までのご寄付を掲載いたしました。

今月は、国民健康保険税四期の納期です。